

ユングのタイプ論から見る性格分類

外向思考タイプ	外向感情タイプ
<p>あなたが、女性ならば珍しいタイプですこれは男性に多いタイプです。あなたはむかしから学校の成績がよく、優秀でした。いろいろな知識や情報を集めることが好きで、それらを頭の中でうまく組み立てるのが得意です。世相の動きには敏感で、積極的な行動もあるので、周囲の人に信頼され、リーダーシップもあります。でも理想主義的な考えは苦手で、自分の感情を表現したり人の感情をくみ取るのはもっとも苦手です。社会的には成功するタイプですが、苦手な感情機能を発達させれば、人間としての幅がもっと広がります。</p>	<p>このタイプの男性は少ない。女性のあなたは結婚していたとしたら、とてもいい奥さんのはずです。夫や子供のためならば、自分が多少犠牲になることなどいいません。社交的で誰とでも気軽に付き合えるのでパーティなどでも人気者です。でも、寂しがりで一人になることは耐えられません。あなたは社交性が生かせるような仕事には向いていますが、考えるのが苦手などで、自分があまり論理的ではないことを自覚して行動しましょう。</p>
外向直感タイプ	外向感覚タイプ
<p>あなたが女性ならば、周りの人から、しばしば頭の良い女性と見られます。でも、あなたの賢さは、論理的でなく直感による総合判断によるものなのです。直感とはいわゆるカンの良さと関係があって、将来の可能性に向かって開かれている能力なのです。外向直感タイプの人、そのカンを周囲の人やモノ、将来の見通しなどに働きます。そのため世の中の新しい動きに敏感で、流行に関係のある仕事に向いています。でも、アイデアが次々と浮かんでくるので、飽きやすいきらいもあって、一つのことをじっくりするのは苦手です。</p>	<p>あなたは服装のセンスが良いとほめられるでしょう。他人の服装についても気になり、ヤボな人は大嫌いです。服装だけでなく、生活全般についても趣味がよく、快樂主義で遊び上手です。観察力にはすぐれているのですが、一見自由にみえても、現実的でものごとにとらわれやすい面もあります。あなたの欠点は、想像力が幼稚なことです。</p>
内向思考タイプ	内向感情タイプ
<p>このタイプは、男性が多いのですが、女性は本当に珍しいタイプです。一度自分でこう考えたならば、人が何て言おうと、なか</p>	<p>あなたは几帳面でまじめな人です。心の中ではっきりした好き嫌いの判断があるのですが、その感情をあまり表面に出さ</p>

この画をヒントに、別の問題の答えを導き出したりする。

「感覚型」・・・色や形を的確に把握する、そのまま詳細に受け取る。

「感情型」・・・好きか嫌いか、感じがいいとか悪いとかを決める、判断する。

あるいは、美味しいケーキに出会った時は――

「思考型」・・・何でこんなに美味しいんだろう？（理由を考えたり）

「直観型」・・・この味は〇〇に使えるぞ！（使い道を考えたり）

「感覚型」・・・△△の風味や□□の味がする。（味そのものを細かく受け取ったり）

「感情型」・・・すごく美味しい！（好き嫌いの感情が前に出たり）

まあ、美味しいケーキならどのタイプでも「美味しい」と言いそうですが、そこからつながらる感想なり発想なりには違いが出るかもしれません。